



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名 中部日本放送株式会社
 コード番号 9402 URL <http://hicbc.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大石 幼一
 (氏名) 山下 雅弘

TEL 052-259-1322

上場取引所 名

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,532	△0.6	513	△29.6	643	△23.9	349	△36.8
25年3月期第1四半期	8,582	7.1	729	85.5	845	68.9	553	163.3

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 564百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △74百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	13.26	—
25年3月期第1四半期	20.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
26年3月期第1四半期	62,646		47,545		74.7	
25年3月期	62,816		47,184		73.9	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 46,789百万円 25年3月期 46,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	7.50	12.50
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		5.00	—	7.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,380	1.1	270	△67.0	390	△59.2	190	△61.0	7.20
通期	32,990	1.7	1,510	△31.1	1,800	△25.1	1,000	△25.0	37.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	26,400,000 株	25年3月期	26,400,000 株
26年3月期1Q	865 株	25年3月期	858 株
26年3月期1Q	26,399,139 株	25年3月期1Q	26,399,281 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10
4. (参考) 個別業績	P. 11
(1) 個別経営成績(累計)	P. 11
(2) 個別財政状態	P. 11
(3) 個別売上高の内訳(累計)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
26年3月期 第1四半期	8,532	513	643	349
25年3月期 第1四半期	8,582	729	845	553
増減率(%)	△0.6	△29.6	△23.9	△36.8

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済が持ち直しに向かう中、輸出や設備投資も上向きとなり、緩やかな回復基調となりました。政府の金融緩和政策や各種経済政策の効果から国内需要も底堅く推移し、個人消費でもマインドが改善するなど明るい兆しも見られています。

しかしながら、テレビの広告市況は、一部の企業に消費者マインドの好転による動きが見られたものの、市況全体における改善傾向には至っておりません。

このような事業環境の下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、85億32百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

利益面では、営業利益は5億13百万円（前年同期比29.6%減）、経常利益は6億43百万円（前年同期比23.9%減）、四半期純利益は3億49百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、太陽光発電事業への参入に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来「不動産賃貸」としておりました報告セグメントの名称を「不動産関連」に変更しております。

	放送関連		不動産関連		ゴルフ場		その他	
	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
26年3月期 第1四半期	7,843	334	355	151	140	7	192	20
25年3月期 第1四半期	7,883	466	350	213	150	22	197	28
増減率(%)	△0.5	△28.2	1.5	△29.0	△6.6	△67.2	△2.7	△27.5

(注) 売上高については、セグメント間の取引を相殺消去しております。

〈放送関連〉

「放送関連」は、クロスメディア収入やイベント収入が増加した一方で、名古屋地区全体のスポット投下量が落ち込んだことなどにより、柱となるテレビスポット収入が減少したことから、売上高は78億43百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

利益面では、売上高の減少に加え、テレビ番組費やイベント原価が増加したことにより、営業利益は3億34百万円（前年同期比28.2%減）となりました。

〈不動産関連〉

「不動産関連」は、長久手市の商業施設における賃料収入が増加したことにより、売上高は3億55百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

利益面では、賃貸駐車場設備の耐震工事に伴う費用が発生したことなどにより、営業利益は1億51百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

〈ゴルフ場〉

「ゴルフ場」は、来場者数が減少したことなどから、売上高が1億40百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は7百万円（前年同期比67.2%減）となりました。

〈その他〉

保険代理業、タクシー業などで構成される「その他」は、売上高が1億92百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は20百万円（前年同期比27.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて1億70百万円減少し、626億46百万円となりました。

主な減少要因として、現金及び預金が23億65百万円減少したほか、減価償却などにより有形及び無形固定資産が1億54百万円、受取手形及び売掛金が1億22百万円それぞれ減少しております。また主な増加要因として、信託受益権の購入などにより流動資産の「その他」が15億20百万円、保有株式の時価上昇や金融商品の購入などにより投資有価証券が6億2百万円、債券の購入などにより有価証券が4億1百万円それぞれ増加しております。

②負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて5億31百万円減少し、151億1百万円となりました。これは、流動負債の引当金が2億98百万円、流動負債の「その他」が3億31百万円増加した一方で、未払費用が10億57百万円減少したことなどによるものです。

③純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて3億60百万円増加し、475億45百万円となりました。これは、四半期純利益の計上と配当金の支払いとの差額により利益剰余金が1億51百万円増加したことや、保有株式の時価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が2億12百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期および通期における連結および個別の業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,758	10,393
受取手形及び売掛金	7,145	7,023
有価証券	2,157	2,559
たな卸資産	42	46
繰延税金資産	377	377
その他	1,421	2,941
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	23,896	23,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,131	25,118
減価償却累計額	△15,387	△15,470
建物及び構築物(純額)	9,744	9,648
機械装置及び運搬具	21,815	21,838
減価償却累計額	△20,001	△20,051
機械装置及び運搬具(純額)	1,814	1,786
土地	10,504	10,502
建設仮勘定	2	—
その他	1,470	1,476
減価償却累計額	△1,207	△1,218
その他(純額)	263	258
有形固定資産合計	22,329	22,196
無形固定資産		
投資その他の資産	275	254
投資有価証券	12,544	13,147
前払年金費用	2,610	2,556
繰延税金資産	255	255
その他	1,053	1,049
貸倒引当金	△148	△148
投資その他の資産合計	16,314	16,859
固定資産合計	38,920	39,310
資産合計	62,816	62,646

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	182	249
未払費用	2,730	1,673
未払法人税等	415	271
引当金	119	418
その他	1,755	2,086
流動負債合計	5,203	4,699
固定負債		
退職給付引当金	750	768
その他の引当金	100	87
資産除去債務	70	69
繰延税金負債	1,957	2,072
長期預り保証金	6,961	6,856
その他	588	548
固定負債合計	10,428	10,402
負債合計	15,632	15,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	654	654
利益剰余金	42,758	42,910
自己株式	△0	△0
株主資本合計	44,732	44,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,692	1,905
その他の包括利益累計額合計	1,692	1,905
少数株主持分	759	755
純資産合計	47,184	47,545
負債純資産合計	62,816	62,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	8,582	8,532
売上原価	4,722	4,856
売上総利益	3,859	3,676
販売費及び一般管理費	3,129	3,162
営業利益	729	513
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	86	113
有価証券売却益	—	7
その他	48	25
営業外収益合計	140	150
営業外費用		
支払利息	21	19
固定資産除却損	0	0
その他	2	0
営業外費用合計	24	20
経常利益	845	643
特別利益		
投資有価証券売却益	8	—
固定資産売却益	52	12
特別利益合計	60	12
特別損失		
投資有価証券評価損	4	2
事業構造再編費用	—	17
特別損失合計	4	19
税金等調整前四半期純利益	901	636
法人税等	345	283
少数株主損益調整前四半期純利益	555	352
少数株主利益	1	2
四半期純利益	553	349

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	555	352
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△630	212
その他の包括利益合計	△630	212
四半期包括利益	△74	564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△76	562
少数株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 関連	ゴルフ 場	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,883	350	150	8,384	197	8,582	—	8,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	46	1	70	168	238	△238	—
計	7,904	397	152	8,454	365	8,820	△238	8,582
セグメント利益	466	213	22	701	28	729	0	729

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益729百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益729百万円と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	放送関連	不動産 関連	ゴルフ 場	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,843	355	140	8,340	192	8,532	—	8,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	45	0	68	175	244	△244	—
計	7,866	401	141	8,408	368	8,777	△244	8,532
セグメント利益	334	151	7	493	20	513	0	513

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、OA機器販売、旅客運送業(タクシー)等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額です。

3 セグメント利益513百万円は、四半期連結損益計算書の営業利益513百万円と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

太陽光発電事業への参入に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来「不動産賃貸」としておりました報告セグメントの名称を「不動産関連」に変更しております。

なお、前第1四半期累計期間の報告セグメントは、変更後の名称で表示しております。

4. (参考)個別業績

①四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。

②「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	7,293	△5.8	425	△35.0	585	△26.5	340	△35.3
25年3月期第1四半期	7,740	7.1	654	99.2	796	66.7	526	124.6

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
26年3月期第1四半期	54,287	43,505
25年3月期	54,617	43,168

(3) 個別売上高の内訳(累計)

(単位：百万円、%)

	前第1四半期 (平成25年3月期 第1四半期)	当第1四半期 (平成26年3月期 第1四半期)	増減	
	金額	金額	金額	増減率
ラジオ収入	600	—	△600	△100.0
タイム収入	339	—	△339	△100.0
スポット収入	248	—	△248	△100.0
その他収入	13	—	△13	△100.0
テレビ関連収入	6,861	7,010	148	2.2
タイム収入	1,960	1,973	12	0.6
スポット収入	3,938	3,828	△110	△2.8
クロスメディア収入	308	336	27	8.8
その他収入	653	873	219	33.6
不動産関連収入	277	282	5	1.9
合計	7,740	7,293	△446	△5.8

(注) 平成25年4月1日付で当社のラジオ事業を㈱CBCラジオに承継させたことに伴い、従来の「テレビ収入」は、当期より「テレビ関連収入」に表示を変更しております。また、太陽光発電事業への参入に伴い、従来の「賃貸収入」は、「不動産関連収入」に表示を変更しております。
なお、上記の表は、前第1四半期の数値につきましても、変更後の表示としております。